

つなぐ



諫早市立大草小学校  
特別支援教育  
コーディネーターだより  
H30.5.2 No.3  
文責 林田

## 😊 4連休ですね 😊

3連休に引き続き、明日から4連休。楽しみにしている子どもも多いと思います。お出かけの予定があるご家庭は、事前に子どもたちに「宿題を済ませておく」ことを伝えることが多いでしょう。

「ちゃんと宿題を済ませておくんですよ。」の一言で、きちんと済ませることができる子どももありますが、時々、「やり忘れ」や「やり残し」をして、学校が始まる前日の夜になって慌てる子どももいますね。

そうすると、親も子ども遊び疲れた中で、イライラしながら宿題に取り組まなければならないという困った状況に陥ります。

では、どうすれば、そのような「やり忘れ」「イライラ」を防ぐことができるでしょうか？

方法はいくつかありますが、その中から2つご紹介します。

### その1 宿題を書き出す

・漢字練習 ・音読 ・算数プリント…

などのように、見て分かるように書き出して、終わったら○をつけるなど、親も子どもで分かるようにしておく、ガミガミお小言を言わなくてもよくなります。

つまり、お互いのストレスが軽減されるということです。

わざわざ書き出すのが面倒だというご家庭は、子どもが学校で書いてきた連絡帳を見えるところに広げておいて、同じように終わった宿題に○をつけるようにさせたらいいと思います。



### 「ダメダメ！」は、やる気をそいでしまいます。

子どもたちが、約束していたことを実行していなかった時、私たち大人はよく「なぜしなかったの?」「約束だから、やらないとダメでしょう。」というような言葉かけをしてしまいがちですが、これは逆効果です。

もしも、約束が守れていなかった場合は、「なぜできなかった(しなかった)」のか、「今からどうすればいいか」を一緒に考えましょう。そして、やり遂げるまで見届け、最後は「褒める」で締めくくりましょう。

### その2 できたら褒める

前回の「つなぐ」でもご紹介しましたが、子どもたちが指示されたことをできた時は、必ず褒めましょう。

褒め方には、いくつかポイントがあります。

① 褒める言葉をかける。(よくできたね。頑張ったね。)

② 何が良かったのかを伝える。

(宿題を全部終わらせていたね。…など)

③ 褒めた理由を伝える。

(言われなくてもできたね。約束した時までにはできたね。…など)

④ もう一度褒める言葉をかける。

(自分でできたから、お母さん嬉しいよ。…など)

褒める言葉をかけながら、「頭をなでる」「抱きしめる」などのスキンシップもいいと思います。

「褒める」行為には、「子どものやる気を高める」効果と、「親子の信頼関係を築く」という効果があります。

褒められて、いい気持ちになって、連休を更に楽しくできたらいいいですね。😊



### 連休明けは…

連休明けは、大人でも「ああ、もっと休みがあったらな…。」と思うものです。子どもたちは尚更かもしれません。

来週の月曜日の朝、気持ちよく学校に送り出すためには、「前もって準備」が大切になりますね。

休みを思いきり楽しむために、子どもたちに「月曜日の準備を、先にしておこうか。」と声をかけてみましょう。

声をかけるだけではだめな場合は、「お母さん(お父さん)が見ておくから、準備をしてごらん。」など、誘いの言葉をかけてみるといいですね。

ちょっとした工夫で、親も子ども気持ちよく過ごせるといいですね。

